

## 第4章 施設計画について

### 4.1 ゾーン別施設計画

計画地に導入する施設の各ゾーンでの施設概要と配置計画を以下に示します。

#### 4.1.1 コアキャンパスゾーン

表 4-1 コアキャンパスゾーンの施設概要

| 導入施設                  | 施設概要   |
|-----------------------|--|
| パークキャンパス<br>(校舎再利用施設) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 総合案内</li><li>・ 合宿施設（ドミトリー*、温浴、食堂など）</li><li>・ コミュニティスペース、スタジオ など</li></ul> |
| 交流広場                  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 芝生広場などのオープンスペース、子どもの遊び場、休憩テラス など</li></ul>                                 |
| テニスコート                | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 8面（調整池機能）</li></ul>  |
| 駐車場                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 110台（駐車台数は駐車場計画の確保台数をもとに仮配分）</li></ul>                                     |
| にぎわい創出施設              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 民間が提案する新しいにぎわい施設の導入などを検討</li></ul>   |

#### (1) パークキャンパス（校舎再利用施設）

パークキャンパスは、総合体育施設全体の管理運営機能のほかに、施設利用者のための総合案内・休息・市民参加型の活動拠点、合宿利用の宿泊施設となる複合施設として計画します。

校舎の再利用として、既存の旧谷原中学校の管理特別教室棟（建築面積 2,758 m<sup>2</sup>、3階建）をコンバージョンし活用することで、旧中学校が有する皆に開かれた学びの場としてのシンボル性を継承し、スポーツキャンパスのテーマを利用者に伝えていきます。

#### (2) 交流広場

旧谷原中学校の校舎跡地を利用し、パークキャンパスの南側に本施設の中心となる多様な利用が可能な空間として交流広場を整備します。

交流広場には芝生を植栽し、利用者が緑の開放的な空間でゆったりくつろいだり、軽スポーツを楽しむなど憩いの空間として活用します。また野外フェスなどの交流イベントなど、広場をフレキシブルに活用します。

#### (3) テニスコート

『スポーツ施設マネジメント基本計画』の検討結果を踏まえ、現況施設の機能継承としてテニスコートを整備します。コート数は、大会開催時の決勝・準決勝・準々決勝などトーナメント方式の運用しやすさを考慮し8面を確保します。

#### (4) 駐車場

パークキャンパスの北側には市道 1-23 号線から入場できる箇所に駐車場 110 台を設けます。

#### (5) にぎわい創出施設

今後、本施設の事業化にあたり官民連携の取り組みを推進する中では、上記の必須施設に加え、民間が提案する新しいにぎわい施設の導入<sup>\*</sup>なども検討していきます。

※配置計画図には民間ヒアリングで提案のあったアーバンスポーツ施設をレイアウトしていますが、内容、配置、規模などは今後の官民連携の検討が進む中で決定していきます。

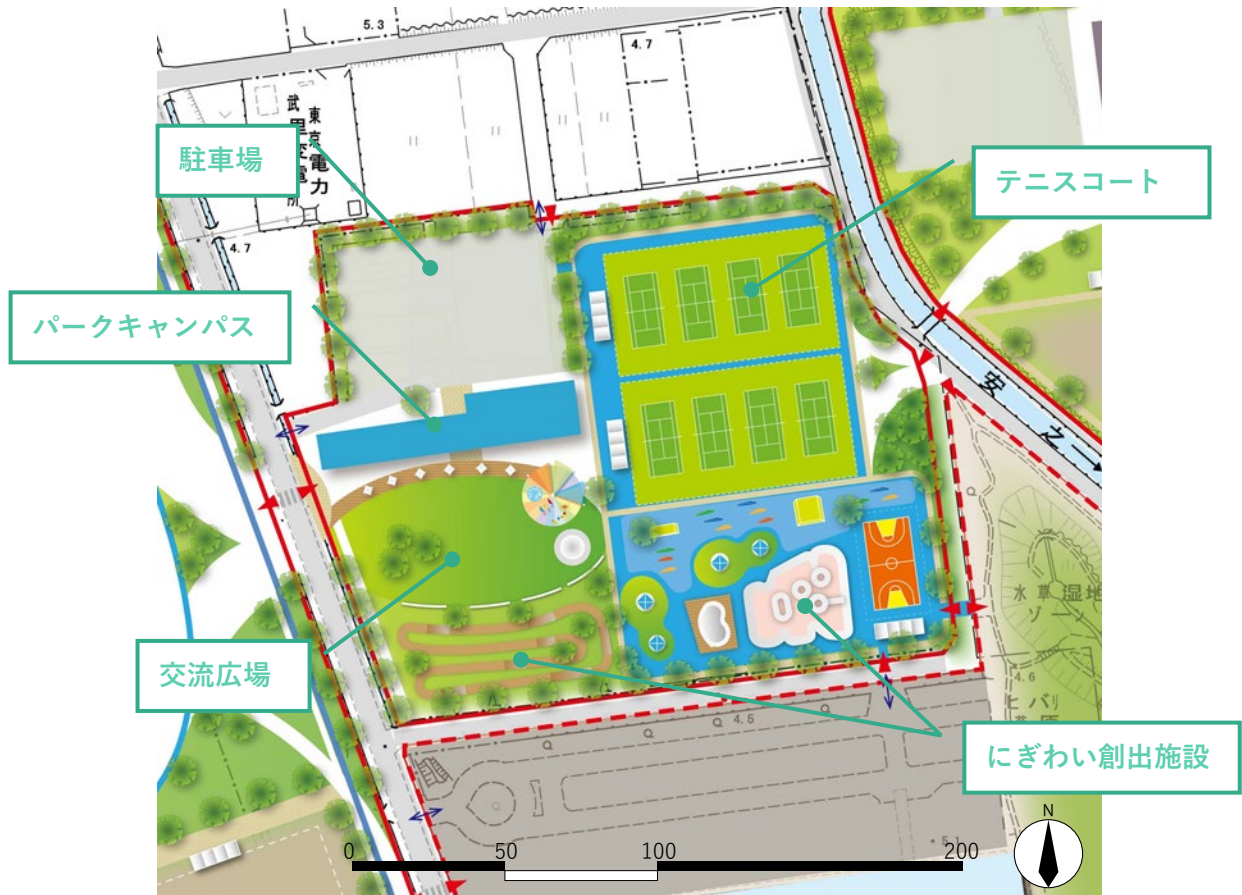


図 4-1 コアキャンパスゾーン施設計画

## 4.1.2 フィールドスポーツゾーン

表 4-2 フィールドスポーツゾーンの施設概要

| 導入施設         | 施設概要  |
|--------------|---|
| 屋外競技場(スタジアム) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 400mトラック (8レーン)</li><li>・ トラック全天候型、インフィールド*芝</li><li>・ メインスタンド (屋根付き)</li></ul> |
| サブグラウンド      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ サッカーコート 2 面(調整池機能)</li></ul>  |
| ジョギングコース     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 2 コース (約 1 km、約 650m、幅員約 2m)</li></ul>  |
| 駐車場          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 318 台 (駐車台数は駐車場計画の確保台数をもとに仮配分)</li></ul>  |

### (1) 屋外競技場 (スタジアム)

市のフィールドスポーツの主要施設として、市内外の交流人口の拡大を図るために関東大会や県大会規模の各種大会が開催できる屋外競技場(スタジアム)を整備します。

スポーツ・ツーリズムの推進を図るため、サッカーなどの多様な競技スポーツの活用やイベントの開催を促進します。また、「みるスポーツ」としての機能を高め競技者と一体となってスポーツを盛り上げる環境を創出します。

### (2) サブグラウンド

屋外競技場(スタジアム)の補助競技場(サブグラウンド)として、大会時の第2会場などの利用ができるようサッカーコート2面程度の規模を整備します。また、少年野球及びソフトボールにも対応できるフェンスなどの付帯施設を設けます。

サブグラウンドには調整池機能を付加します。

### (3) ジョギングコース

屋外競技場(スタジアム)の周りに、試合や練習前後のウォーミングアップ・クールダウンなどに利用できるジョギングコースを設けます。

競技場とサブグラウンドを周回する約1kmのロングコースと、競技場周りを周回する約650mのショートコースの2コースとします。

舗装はジョギングに適したクッション性のある材料を採用し、快適なトレーニング環境を創出します。

### (4) 駐車場

ゾーンの北側に、屋外競技場(スタジアム)とサブグラウンド利用者のための駐車場318台を設けます。



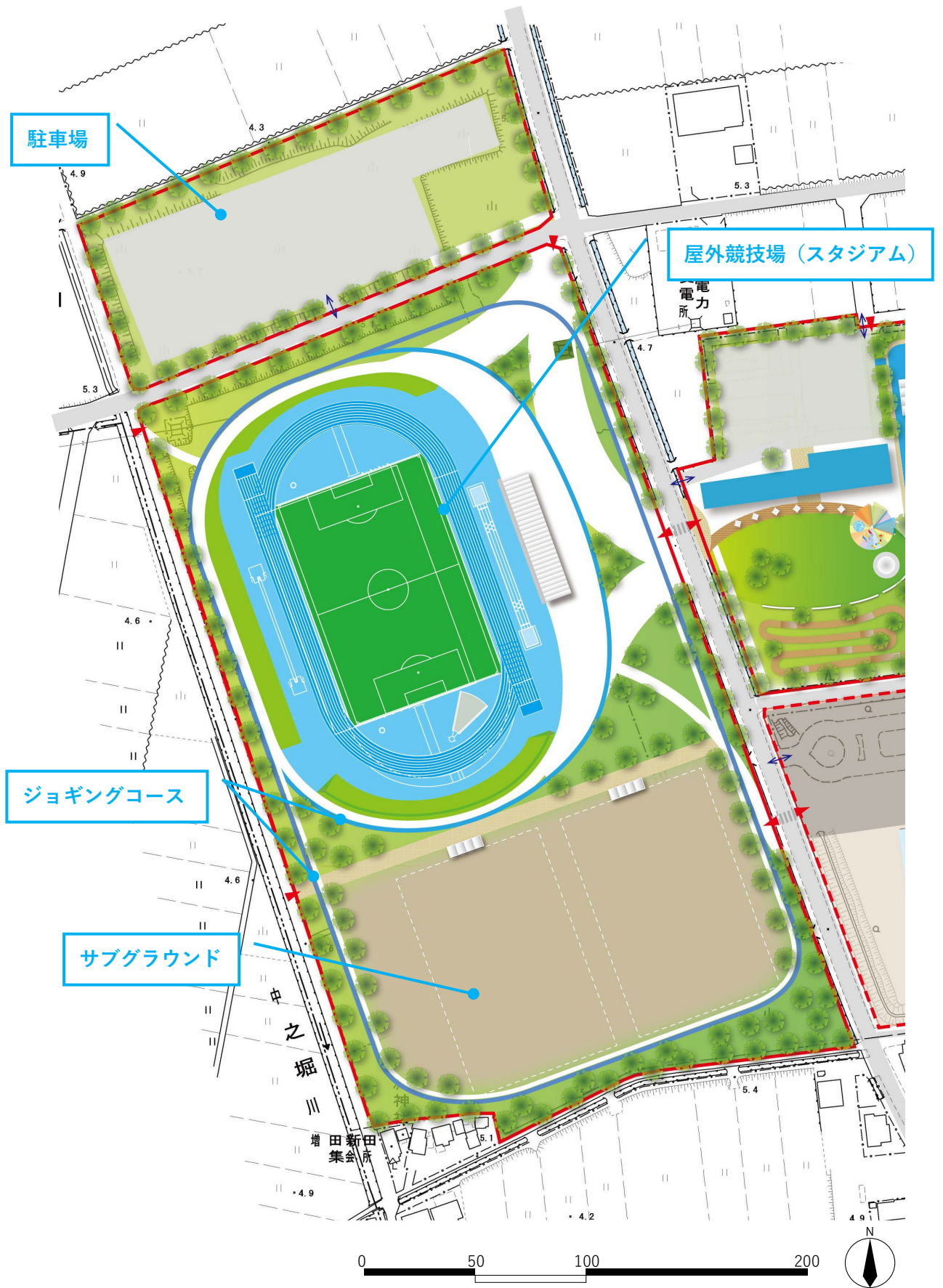


図 4-2 フィールドスポーツゾーン施設計画

### 4.1.3 多目的スポーツゾーン

表 4-3 多目的スポーツゾーンの施設概要

| 導入施設        | 施設概要                                       |
|-------------|--|
| 多目的スポーツセンター | ・ 柔道、剣道、弓道<br>・ バasketボール、バレーボール、バドミントン など |
| 多目的グラウンド    | ・ ターゲットバードゴルフ など                           |
| ビオトープ       | ・ ビオトープ兼調整池機能                              |
| 駐車場         | ・ 100台（駐車台数は駐車場計画の確保台数をもとに仮配分）             |

#### (1) 多目的スポーツセンター

『スポーツ施設マネジメント基本計画』における施設の集約・再編の方針を受け、市民武道館の将来的な建て替えを踏まえた機能移転と市民体育館のアリーナ機能の一部を統合した多目的スポーツ施設を整備します。

屋内スポーツとして柔道や剣道、弓道に加え、バasketボールやバレーボール、バドミントンなど多様なスポーツ、レクリエーションに利用できる施設とします。

#### (2) 多目的グラウンド

競技スポーツ以外の多目的な屋外スポーツやレクリエーションにも利用できるグラウンドを整備します。

球技利用に対応できるようフェンスなどの付帯施設を設けます。

#### (3) ビオトープ

ゾーン毎に調整池機能が必要となるため南側に調整池を設け、上部をビオトープとして活用します。周辺の水田環境との調和や既存の谷原親水広場を核とした多様な生き物の生息空間の拡大、地域の防災・減災に加え、新たな環境の創出や地域活動、環境学習などの地域振興に寄与するグリーンインフラの形成を目指します。

#### (4) 駐車場

ゾーンの北側に、多目的スポーツセンターと多目的グラウンド利用者のための駐車場100台を設けます。

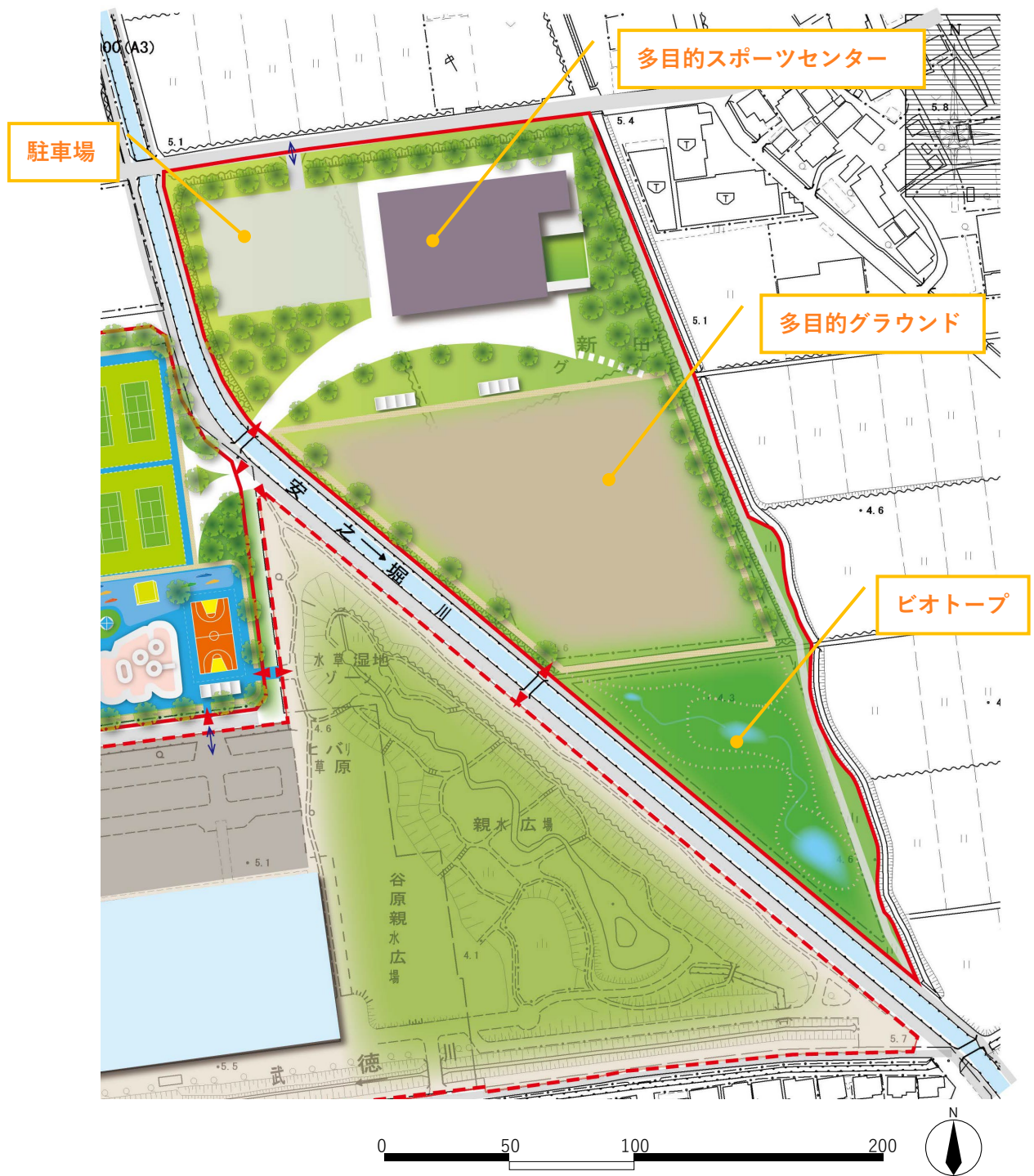


図 4-3 多目的スポーツゾーン施設計画



#### 4.1.4 アリーナゾーン及びビオトープゾーン…整備済み

整備済みのアリーナゾーン及びビオトープゾーンについては、既存の施設構成を維持するものとします。

表 4-4 アリーナゾーン及びビオトープゾーンの施設概要（既設）

| 導入施設   | 施設概要（既設）                       |
|--------|--------------------------------|
| 総合体育館  | ・ バスケットボール、卓球、ハンドボール、体操、ダンス など |
| 駐車場    | ・ 198 台                        |
| 谷原親水広場 | ・ ビオトープ兼調整池機能                  |

##### (1) 総合体育館

総合体育館は、市民利用中心の多目的スポーツセンターと区分し、国民体育大会の卓球競技会場やボクシング世界戦、バスケットボールリーグ戦などの実績から、市のインドアスポーツのコアとして大会誘致に努めスポーツファンの拡大に寄与します。

周辺のパークキャンパスや屋外競技場（スタジアム）など新たに整備する施設との多様な利用連携により、更なるスポーツの魅力発信やスポーツを通じた交流、健康づくりの増進に努めます。

##### (2) 駐車場

既設の駐車場 198 台を概ね維持しますが、コアキャンパスゾーンとのスムーズな動線確保の観点から駐車場内の歩行系園路の確保などを進めます。

##### (3) 谷原親水広場

谷原親水広場は調整池機能を有したビオトープを形成しています。水辺や湿地、草地、林地で構成され、爬虫類や両生類、鳥類、昆虫などの多様な動物が確認されています。また、環境保護団体によって、確認された生き物の紹介や観察会などの活動も盛んに行われており、生き物の生息環境の保全とともに環境教育の普及に寄与しています。

調整池機能を維持しながら、多目的スポーツゾーンに新設されるビオトープとの連携を図ることで、多様な生き物の生息空間の形成を目指します。

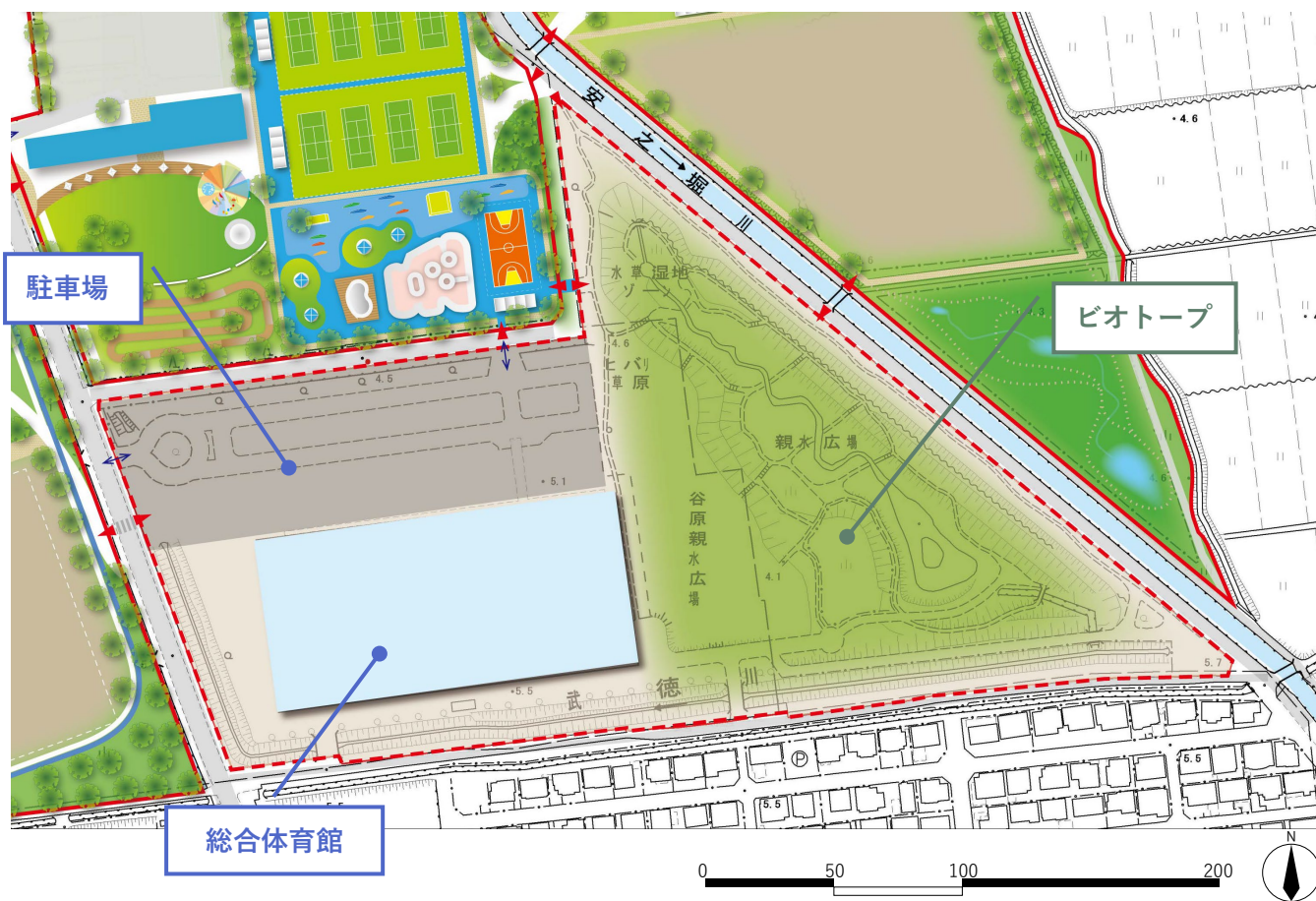


図 4-4 アリーナゾーン及びビオトープゾーン (整備済み)